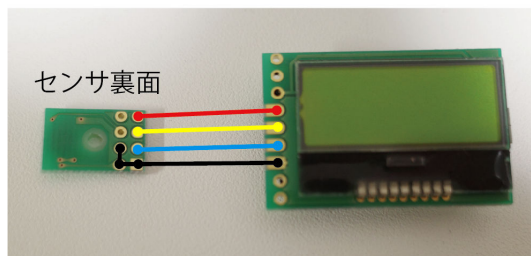


■特徴

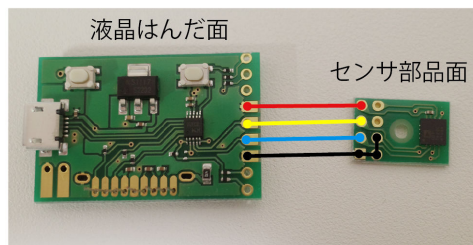
当社なんでもセンサーキットと ADT7422, ADT7420 を接続する際の補足説明書です。

■説明書記載のとおり、センサ基板と4線接続します。配線は30cm位までとしてください。4線を編んだり、ツイストペアにすると不安定になります。このときセンサの感温面は向こう側（裏側）を向きますのでご注意ください。

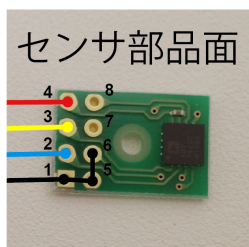
■ADT7422 との接続



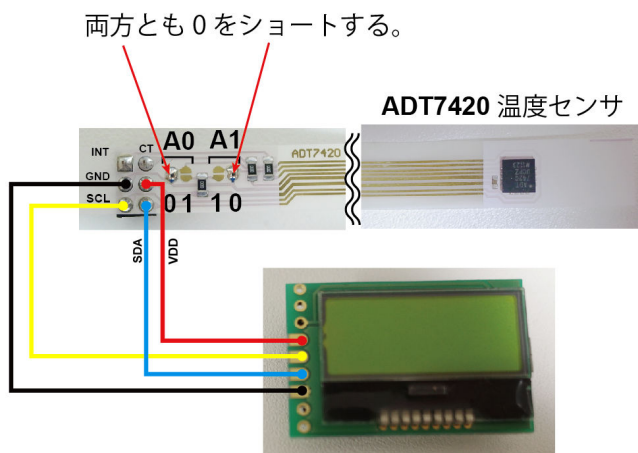
裏側から見た図はこのようになります。



■ADT7422 は I2C スレーブアドレスを選ぶ必要があります。次の配線も必要です。  
※1番(GND)と5番(A1)と6番(A0)を共に接続します。



■ADT7420 との配線は次のようにします。



- このセンサは温度のみの計測となりますので1行目のみ温度が表示され、2行目には何も表示されません。
- このセンサとの組み合わせでは追加で4つのボタンを取り付ける必要はございません。
- このセンサでは最高温度、最低温度の保持機能があります。
- 最高温度、最低温度をクリアするには MODE ボタンを何回か押して MAX または MIN 表示に切り替えます。SET ボタンを約3秒押し続けます。MAX/MIN CLEAR と表示され、最大値・最小値の両方がリセットされます。
- 動作中に温度センサの抜き差しをしないでください。通信が不安定となり-230°Cのような異常な温度を観測して、最高・最低温度がおかしくなることがあります。このセンサには CRC などの通信誤り検出手段がないので、異常温度をはじくのが難しいです。